

### 1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2092300058	
法人名	株式会社 ケアサポートふきのとう	
事業所名	グループホームふきのとう	
所在地	長野県諏訪郡下諏訪町西四王5000-8	
自己評価作成日	平成28年9月10日	評価結果市町村受理日 平成29年4月14日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="http://www.kaigokensaku.jp/">http://www.kaigokensaku.jp/</a>
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社マスネットワーク 医療福祉事業部	
所在地	長野県松本市巾上13-6	
訪問調査日	平成29年3月9日	

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域の準幹線道路より一本奥まった場所にあり、アクセスしやすいが静かな場所にあり、立地条件が良い。利用者の毎日の散歩(天候不順時以外はほぼ毎日)を通して、地域の方とのふれあいが保てている。また、縁側にて涼んでいる際、地域の方より気軽に声を掛けられることで、利用者の社会との接点となっており、周りとの理解を深めるきっかけともなっている。  
 体が思うように動かせない利用者様もいるが、個々の体調・思いに対応した支援に心がけている。また、日々の階段昇降や体操などを通じて健康維持・体力増進につなげている(階段昇降が不可能な方は、新館のエレベーターを使用して昇降ができる)。  
 月事の外出レクリエーションや一年に一度の宿泊旅行を通じて、ハリのある生活をお楽しみ頂いている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

諏訪郡下諏訪町西四王町の一員として同一敷地内に本館、新館の2棟(1ユニット定員9名)が寄添うように設置され、運営されている。法人本部の株式会社ケアサポートふきのとうは、同町内に居宅介護支援事業所及び訪問介護事業の2事業も展開して、それぞれ独自の特性を有効に活用して、地域で暮らす利用者などの様々なニーズに応えるべく在宅介護サービスの充実と連携強化に取り組んでいる。事業所は、運営理念「この街でその人らしさをいつまでも。」を基に地域密着型サービスの意義を踏まえ、理念の具現化に取り組んでいる。日常生活の中で利用者がやりたいと思うことを尊重して、その行動を見守り、出来ないところを支援している。安心して暮らすことできる場を提供したいという思いで質の高いサービス提供に努めている。認知症高齢者支援の課題に対してみんなで知恵を出し合い、自発的に解決する雰囲気や育っていて、笑顔と明るさが絶えない心が通い合う温かさが施設全体に漂っている。

・サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

ユニット名(本館)					
項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない			

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
ユニット名(新館)			
項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>職員目の付く場所(職員用トイレなど)に掲示し、理念の共有を図っている。</p>	<p>事業所は独自の理念を構築している。管理者と職員間でその理念について話し合いの機会を持ち、理解を深めている。日々のサービスの提供場面で利用者のその人らしい生活と施設と地域の関係性を重視した理念を大切にしている。</p>	
2	(2)	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地区のお祭りや行事などにお招き頂き、職員共々参加させて頂いている。また、ボランティアで地域の方がハーモニカなどを演奏して下さっている。</p>	<p>西四王町の一員として行政や地域からの配布物がある。地区の祭りや公会所で開催のそば打ち会、健康体操などに参加して地域の一員として積極的に交流している。日常的に散歩や買物に出掛けて地域の方と挨拶を交わしたり会話をされている。また、切り花や野菜の差し入れなど、近隣に住む人達とふれあう機会が多い。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>人材育成の貢献として、実習生の受け入れをしている。また、キャラバンメイトのフォローアップ研修に参加し、実践経験をフィードバックしている。</p>	/	/
4	(3)	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>活動内容や、事故の報告を通じて助言を頂き、他事業所での取り組みや意見を通じて、情報共有や業務改善に努めている。</p>	<p>事業所の運営内容や利用者、職員の状況の他、避難訓練、日帰り旅行などの報告などを基に事業運営改善に向けた会議が開催されている。保険者、行政、介護相談員、民生委員、町内会長の各分野から出席を得て、それぞれの立場からの意見や提言はサービス向上に向けた取組に活かされている。今月は、おやつクリエイション時に開催して利用者との交流を図る会議を企画している。</p>	<p>事業所が地域密着型サービスとしての役割を果たすために適切にこの会議が機能していますが、より地域の理解と支援を得るために警察、消防署など新しいメンバーの人々が積極的に関わるような働きかけや会議の内容や方法などの工夫を期待したい。</p>
5	(4)	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>施設の実情や支援の方法などの助言を頂いたり、空床情報などの共有を通じて信頼関係を築くよう努めている。</p>	<p>下諏訪町健康福祉課及び保険者である諏訪広域連合介護保険課の担当者とは、日頃から事業所の実情や利用者の暮らしの様子やニーズなどを伝え、連携を深めている。会議や研修会には、積極的に参加して行政、地域の情報を得ている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	出来る限り利用者ご本人の想いに沿いながら、安全面への注意を払った上で、見守りなどにより自由に生活を送って頂いている。	身体拘束や不適切ケアに関してリーダー会議、各ユニット会議などで事業所内研修が行われ、職員の拘束しない介護への認識が共有化されている。入所時に起こり得るリスクを家族と共有している。職員による見守りや連携を徹底し、利用者の心身状態を正確に把握することで安全面に配慮された自由な暮らしを支援している。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ざれることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月のユニット会議に際して、事例報告や社内研修会を行い、虐待についての知見を得て防止に努めている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修や勉強会の開催を計画する予定。成年後見制度が必要なケースが出た場合、対応できる体制作りをしていく。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、重要事項や料金、事業所として可能・不可能な事など、詳しい説明や質疑応答を通じて理解・納得を得ている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の訪問時や毎月のお便りを通じてご利用者の様子をお伝えしながら、ご家族の想いを聞くよう努めている。	施設の担当職員から利用者個々の身体や介護状況、日常生活の様子に関するコメント、施設で暮らす利用者個々の直近のスナップ写真と連絡事項を含めたお便りを作成して毎月、家族全員に郵送して良好な信頼関係の構築に努めている。面会時に家族と話す機会も大切にしている。玄関に意見箱を設けて、意見や要望を出せるよう工夫されている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議前にアンケートを取り、口頭で伝えにくい意見などが言いやすい様になっている(発言者が不利益にならない様配慮している)。	法人本部より職員全員に年1回、アンケートを実施、その後、代表者及び統括との個別面談を行う体制がある。また、管理者は日々の業務の中から職員の運営に対する意見や要望を聞くよう声掛けしたり個別の面談を実施している。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	事業所の代表者が時々現場に来て、働きやすい環境づくりに努めている。スタッフの努力が労働条件に反映できるよう努めている(賞与や昇給など)。		
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に一度の幹部会議を通して、個々職員の力量や研修の必要性を確認している。外部研修は必要とする。出来るだけ多くの職員が参加できるように配慮している。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連絡会やキャラバンメイトのフォローアップ研修など、同業者との交流を図っている。今後相互訪問など計画していく予定。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で、生活状態や身体状況などを把握するよう努めている。 サービス利用について相談があった時は、本人の想いを聞き、職員との信頼関係を作るよう努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでのご家族の苦労や思い、経験などを聴き、ご家族の求めている事の理解やそれに付いての対策を取るよう努めている。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前の相談で、本人やご家族からゆっくり話を聴き、事業所としてどのような対応が出来るか検討している。		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者に役割を持って頂いたり、家事を共同でして頂き、助け合いの関係づくりに努めている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の写真付きのお便り(作成者は各担当職員)をお送りし、ご家族がお越しになった際に、ご様子をお話したり、ご利用者と一緒にお過ごし頂くなど、情報や思いの共有を図っている。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者の中には、時折電話や直接の来訪で交流を持って下さる方もいる。ご利用者のなじみの関係を把握し、関係を継続できるよう努めている。	家族以外の親戚や教え子、元職場の同僚の方などの訪問時にもプライバシーに配慮された面会場所を確保している。利用者一人ひとりのこれまでの様々なつながりを大切に考えて継続した関わりが持てるように支援している。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が同士の関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士、会話の場を設けたり、職員が間に入り関わりを持つようにしている。トラブルが生じた際は、お互いにわだかまりが残らぬよう配慮している。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後にもこれまでの生活が出来る様、情報交換を行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その</b>					
23	(9)	<p>思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の関わりの中で、思いや希望を把握するよう努めている。</p>	<p>日々の関わりの中で利用者個々に寄添う姿勢での面談を大切にして本人の意向の把握に努める工夫をされている。日々の送りノートや個別記録に個々から得られた情報を具体的に会話した言葉なども記録して共有している。家族から得られた情報も大切にして思いや意向の把握に努めている。</p>	
24		<p>これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>入居前に、ご本人ご家族より情報をお聞きし、日々の関わりの中から把握を深める様努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>日々の生活の様子から、できる事の把握につとめている。毎月のユニット会議で、各利用者様の状態・思いを共有・検討している。</p>		
26	(10)	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご本人やご家族との関わりの中で、思いや意見を聞き逃さないよう努め、職員会議内や日々の関わりの中で、各担当職員を中心に共有・検討している。</p>	<p>本人や家族から生活に対する意向や関係者からの意見を活かして介護計画に反映している。全職員がアセスメントに関わり、毎月1回カンファレンスを実施して短期目標・サービス内容を項目ごとに具体的に評価している。変化が見られた時には随時、見直し現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>全ての職員が、日々の記録を確認し把握するよう義務付けている。記録を活かし、実践に生かすよう努めている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>緊急の受診など、ご本人やご家族の状態や要望に応じている。また、デイサービスなどご本人やご家族の要望があれば、検討の上利用できる様調整をして、出来る限り要望に応える事が出来る様努めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事参加や、地域のボランティアの方に協力して頂いている。近所に美容室があり、散髪に行く際のご利用者に対する理解を頂いている。		
30	(11)	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人やご家族の希望を聞いている。ご家族が受診に同行出来ない方は、事業所の協力医療機関に変更してもらう事もある。	利用者や家族の希望を大切にしながらかかりつけ医を決めている。事業所では諏訪協立病院が協力医による受診体制もある。家族と連携を取り受診しているが都合がつかない時には職員が対応している。受診時には、事業所より利用者の一般バイタルや介護状況など情報を家族に提供して適切な医療が受けられる支援がされている。	
31		看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員の配置は無いが、訪問医療を利用し、日々の状態や異変などの情報共有に努めている。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は病状の他、ご本人の普段の様子やADLについて伝えている。入院中は、ご家族と連絡を取り合い、早期退院につながるよう努めている。		
33	(12)	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合、事業所としてできる事を契約時に紙面化して説明している。看取りを希望されるご利用者には、看取りまで支援を行っている。	入所時より事業所の重度化や終末期への対応について説明して方針を共有している。利用者の変化が見られた時には、本人・家族の意向を確認しながら地域の医療、介護、福祉関係機関と連携を取り支援している。今後は、更に利用者や家族の意向や思いに沿った終末期支援の体制を検討している。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	地域の消防団に依頼し、救急の研修を行い、実際に救急対応が必要な際に役立っている。定期的実施する予定。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	(13)	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>避難訓練・通報訓練・消火訓練を定期的に行っている。緊急連絡網・緊急時の役割分担を定め、緊急時の対応を迅速確実に出来る様努めている。</p>	<p>火災、地震、風水害時対応の危機対応マニュアルが策定されている。消防署の立会いを得て、利用者の安全な避難方法を全職員が身につけるように、同一敷地内の事業所合同で避難、通報訓練を実施している。施設内には、食料品、介護用品、毛布など災害に備えた備品などが準備されている。</p>	<p>いざという時に慌てず確実に避難誘導ができるように備えていくことが大切で、職員だけの誘導の限界を踏まえて、今後は、地域の方々や団体、組織からの協力が実際に得られ、一緒に訓練を行うなど実践的な取り組みができるよう地域との協力体制の構築と災害に備えた備品内容の見直しを期待したい。</p>
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	<p>一人ひとりの尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>日頃のケアの中で、気になる言動や行動などがあった場合は、その都度確認し、職員会議でも話し合い、共有を図っている。</p>	<p>各ユニット会議時、利用者・家族・周りの人に不快感を持たせないよう言葉使い、立ち振る舞いなどに気を付けるよう話し合いを行っている。利用者への尊厳保持やプライバシーに付いても日々の介護の中で実践するよう取り組んでいる。新入職員に対しては育成、指導の体制がある。利用者個人の書類は、一箇所に保管収納されている。</p>	
37		<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>遠慮がちな方、上手く表現ができない方など、一人ひとりに合わせ、答えやすい様子を付けている。</p>		
38		<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>メリハリある生活のため、基本的な一日の流れはあるが、ご本人のペースを尊重し、必要に応じて希望を取り入れている。外出や行事は、ご本人の希望を把握し、出来る限り実行するよう努めている。</p>		
39		<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している</p>	<p>個々の習慣に合わせ、化粧やおしゃれをして頂いている。ご自分で出来ない場合は、職員と一緒にコミュニケーションを取り、意思を確認しながら手伝っている。</p>		
40	(15)	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事の買い出しは、ご利用者と行かれる時は一緒に行っている。調理や食器の片付けも日課とされている利用者様もあり、出来る限り多くのご利用者に関われるよう努めている。</p>	<p>利用者の希望などを取り入れ職員が日々の献立を作成している。敷地内で耕作している畑から旬の野菜も使用している。職員と一緒に包丁を使い食材を調理したり配膳、下膳など日常的に食事の一連の作業を通じた利用者の力を発揮することで食事全体が楽しくなる工夫をされている。季節行事食や希望献立のおやつメニューなどを多く取り入れている。誕生日会ではケーキを購入してお祝いしている。</p>	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食量や体調を把握し、記録している。メニューはバランスやご利用者の希望を踏まえ、担当職員が考えている。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自力で出来る方は声掛けし、説明が必要な方は見守り介助している。歯科衛生士の資格を持つ職員がおり、口腔状況の把握に助言をもらっている。		
43	(16)	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	なるべくおむつを使わず、また、自立できるように支援している。入所時より改善されている方が多い。	利用者全員の排尿・便チェック表を作成して把握した排泄パターンに添いながら、常に職員は、排泄の自立を意識して声掛けやトイレ誘導を積極的に行っている。トイレでの排泄介助を習慣としている。職員間での送り時には、排尿、排便など細部にわたり報告し合い利用者個別の排泄支援が実践されている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	天候の悪い日以外は毎日散歩に出掛け、便秘体操などを行い、運動の機会を作っている。個々の体質に合わせ、主治医に相談し薬の処方をして貰う事もある。		
45	(17)	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	目安としての入浴日は定めているが、要望に応じて変更し、入浴頂いている。	月～土曜日、日に3名の利用者の入浴を実施している。日々のバイタルチェックの確認後、利用者の好みのお湯の温度や入浴時間の長短など利用者個々の意向を尊重、職員マンツーマンによる十分な声掛けに努めて安心して安全な入浴ができるよう配慮されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中は散歩や体操をするなど活動を促し、一人ひとりの体調や要望に合わせて休んで頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		<p><b>服薬支援</b> 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>一人ひとりの処方箋を個人のファイルに保管し、内容が把握できるようにしている。体調を把握し、必要時は医師に相談し薬の変更をしている。</p>		
48		<p><b>役割、楽しみごとの支援</b> 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>食事作りなどの家事を一緒にやって頂き、感謝を伝えている。毎日決まった役割の方もいる。身体能力や認知症の程度によって、決まった方に偏りがちになるのが課題。</p>		
49	(18)	<p><b>日常的な外出支援</b> 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>普段の関わりや会話の中で希望を把握し、出かけるように努めている。職員の都合で希望に添えない事もあり、課題となっている。</p>	<p>毎日、日常的に施設前庭での日光浴や外気浴、近所の四王公園へ散策に出掛けて気分転換や五感を刺激しストレスを溜めないよう外出を活用している。利用者の希望に沿った上田城址や隣町で開催した歌謡ショー観覧などの外出計画を立て、大勢の利用者が戸外に出る機会を多くするように取り組んでいる。昨年10月にはバスを貸切って鎌倉日帰りツアーを実施した。</p>	
50		<p><b>お金の所持や使うことの支援</b> 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>基本的に事業所で預かっているが、希望されるご利用者は手元に少額を持っていただいている。手元にない事に不安を感じている方には、預かっている旨を伝えている。</p>		
51		<p><b>電話や手紙の支援</b> 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>家族や友人、知人などから電話がある際は、場所などに配慮し取り次いでいる。希望があれば、ご利用者から電話を掛けたり手紙を書く事もある。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	作りは民家を改築しており、お風呂やトイレは普通の家庭と同じようになっている。飾り付けは出来る限り施設感無く、家庭的になる様になっている。	手すりの取付や段差解消など利用者に適切な住宅改修がなされている。窓からの採光も良く、明るく十分な自然光を採り入れている。リビングとキッチンが一体化していて職員と利用者が常に関り易い状況である。利用者にとって使い易いソファやテーブルの配置されている。思い出の写真や作品が飾り付けられるなど生活感があり一人ひとりが居心地良く過ごせる環境となっている。	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールやリビングの空きスペースにソファや椅子を置き、くつろげるようにしている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンスや仏壇など、馴染の物や大切な物を持ち込んでもらっている。	居室には、空気清浄加湿器、エアコン、特殊寝台が設置されている。また、広くて機能的なクローゼットがあり整理整頓されている。持ち込みに制限はなく、利用者や家族の思いで、慣れ親しんだ家具、テレビ、家族写真、作品などが置かれて一人ひとりが馴染み易く安心して過ごせる部屋作りに努めている。9部屋すべて間取りが異なり和、洋室がある。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの理解力や身体状況に合わせて表示をしたり、手すりを設けるなどしている。出来るだけご本人の力で出来る様に、その都度検討している。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Alt+)- + (Enter+)-です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>理念に基づく運営</b>					
1	(1)	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>職員の目の付く場所(職員用トイレなど)に掲示し、理念の共有を図っている。</p>		
2	(2)	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地区のお祭りや行事などにお招き頂き、職員共々参加させて頂いている。また、ボランティアで地域の方がハーモニカなどを演奏して下さい。</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>人材育成の貢献として、実習生の受け入れをしている。また、キャラバンメイトのフォローアップ研修に参加し、実践経験をフィードバックしている。</p>		
4	(3)	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>活動内容や、事故の報告を通じて助言を頂き、他事業所での取り組みや意見を通じて、情報共有や業務改善に努めている。</p>		
5	(4)	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>施設の実情や支援の方法などの助言を頂いたり、空床情報などの共有を通じて信頼関係を築くよう努めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	出来る限り利用者ご本人の想いに沿いながら、安全面への注意を払った上で、見守りなどにより自由に生活を送って頂いている。		
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月のユニット会議に際して、事例報告や社内研修会を行い、虐待についての知見を得て防止に努めている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	外部研修や勉強会の開催を計画する予定。成年後見制度が必要なケースが出た場合、対応できる体制作りをしていく。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、重要事項や料金、事業所として可能・不可能な事など、詳しい説明や質疑応答を通じて理解・納得を得ている。		
10	(6)	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ご家族の訪問時や毎月のお便りを通じてご利用者の様子をお伝えしながら、ご家族の想いを聞くよう努めている。		
11	(7)	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議前にアンケートを取り、口頭で伝えにくい意見などが言いやすい様にしている(発言者が不利益にならない様配慮している)。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		<b>就業環境の整備</b> 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境条件の整備に努めている	事業所の代表者が時々現場に来て、働きやすい環境づくりに努めている。スタッフの努力が労働条件に反映できるよう努めている(賞与や昇給など)。		
13		<b>職員を育てる取り組み</b> 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月に一度の幹部会議を通して、個々職員の力量や研修の必要性を確認している。外部研修は必要とする。出来るだけ多くの職員が参加できるように配慮している。		
14		<b>同業者との交流を通じた向上</b> 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	連絡会やキャラバンメイトのフォローアップ研修など、同業者との交流を図っている。今後相互訪問など計画していく予定。		
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<b>初期に築く本人との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前面談で、生活状態や身体状況などを把握するよう努めている。 サービス利用について相談があった時は、本人の想いを聞き、職員との信頼関係を作るよう努めている。		
16		<b>初期に築く家族等との信頼関係</b> サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでのご家族の苦労や思い、経験などを聴き、ご家族の求めている事の理解やそれに付いての対策を取るよう努めている。		
17		<b>初期対応の見極めと支援</b> サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前の相談で、本人やご家族からゆっくり話を聴き、事業所としてどのような対応が出来るか検討している。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者に役割を持って頂いたり、家事を共同でして頂き、助け合いの関係づくりに努めている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	毎月の写真付きのお便り(作成者は各担当職員)をお送りし、ご家族がお越しになった際に、ご様子をお話したり、ご利用者と一緒にお過ごし頂くなど、情報や思いの共有を図っている。		
20	(8)	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご利用者の中には、時折電話や直接の来訪で交流を持って下さる方もいる。ご利用者のなじみの関係を把握し、関係を継続できるよう努めている。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずにご利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士、会話の場を設けたり、職員が間に入り関わりを持つようにしている。トラブルが生じた際は、お互いにわだかまりが残らぬよう配慮している。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約終了後にもこれまでの生活が出来る様、情報交換を行っている。		
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で、思いや希望を把握するよう努めている。		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に、ご本人ご家族より情報をお聞きし、日々の関わりの中から把握を深める様努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の様子から、できる事の把握につとめている。毎月のユニット会議で、各利用者様の状態・思いを共有・検討している。		
26	(10)	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族との関わりの中で、思いや意見を聞き逃さないよう努め、職員会議内や日々の関わりの中で、各担当職員を中心に共有・検討している。		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	全ての職員が、日々の記録を確認し把握するよう義務付けている。記録を活かし、実践に生かすよう努めている。		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	緊急の受診など、ご本人やご家族の状態や要望に応じている。また、デイサービスなどご本人やご家族の要望があれば、検討の上利用出来る様調整をして、出来る限り要望に応える事が出来る様努めている。		
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の行事参加や、地域のボランティアの方に協力して頂いている。近所に美容室があり、散髪に行く際のご利用者に対する理解を頂いている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>ご本人やご家族の希望を聞いている。ご家族が受診に同行出来ない方は、事業所の協力医療機関に変更してもらう事もある。</p>		
31		<p>看護職との協働</p> <p>介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>看護職員の配置は無いが、訪問医療を利用し、日々の状態や異変などの情報共有に努めている。</p>		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は病状の他、ご本人の普段の様子やADLに付いて伝えている。入院中は、ご家族と連絡を取り合い、早期退院につながるよう努めている。</p>		
33	(12)	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域との関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合、事業所としてできる事を契約時に紙面化して説明している。看取りを希望されるご利用者には、看取りまで支援を行っている。</p>		
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>地域の消防団に依頼し、救急の研修を行い、実際に救急対応が必要な際に役立っている。定期的実施する予定。</p>		
35	(13)	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力的体制を築いている</p>	<p>避難訓練・通報訓練・消火訓練を定期的に行っている。緊急連絡網・緊急時の役割分担を定め、緊急時の対応を迅速確実に出来る様努めている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日頃のケアの中で、気になる言動や行動などがあった場合は、その都度確認し、職員会議でも話し合い、共有を図っている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	遠慮がちな方、上手く表現ができない方など、一人ひとりに合わせ、答えやすい様気を付けている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	メリハリある生活のため、基本的な一日の流れはあるが、ご本人のペースを尊重し、必要に応じて希望を取り入れている。外出や行事は、ご本人の希望を把握し、出来る限り実行するよう努めている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	個々の習慣に合わせ、化粧やおしゃれをして頂いている。ご自分で出来ない場合は、職員と一緒にコミュニケーションを取り、意思を確認しながら手伝っている。		
40	(15)	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の買い出しは、ご利用者と行かれる時は一緒に行っている。調理や食器の片付けも日課とされている利用者様もあり、出来る限り多くのご利用者に関われるよう努めている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や体調を把握し、記録している。メニューはバランスやご利用者の希望を踏まえ、担当職員が考えている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42		<p>口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>自力で出来る方は声掛けし、説明が必要な方は見守り介助している。歯科衛生士の資格を持つ職員があり、口腔状況の把握に助言をもらっている。</p>		
43	(16)	<p>排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている</p>	<p>なるべくおむつを使わず、また、自立できるように支援している。入所時より改善されている方が多い。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>天候の悪い日以外は毎日散歩に出掛け、便秘体操などを行い、運動の機会を作っている。個々の体質に合わせ、主治医に相談し薬の処方をして貰う事もある。</p>		
45	(17)	<p>入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている</p>	<p>目安としての入浴日は定めているが、要望に応じて変更し、入浴頂いている。</p>		
46		<p>安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>日中は散歩や体操をするなど活動を促し、一人ひとりの体調や要望に合わせて休んで頂いている。</p>		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの処方箋を個人のファイルに保管し、内容が把握できるようにしている。体調を把握し、必要時は医師に相談し薬の変更をしている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事作りなどの家事を一緒にやって頂き、感謝を伝えている。毎日決まった役割の方もいる。身体能力や認知症の程度によって、決まった方に偏りがちになるのが課題。		
49	(18)	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	普段の関わりや会話の中で希望を把握し、出かけるように努めている。職員の都合で希望に添えない事もあり、課題となっている。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金の所持したり使えるように支援している	基本的に事業所で預かっているが、希望されるご利用者は手元に少額を持っていただいている。手元にない事に不安を感じている方には、預かっている旨を伝えている。		
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や友人、知人などから電話がある際は、場所などに配慮し取り次いでいる。希望があれば、ご利用者から電話を掛けたり手紙を書く事もある。		
52	(19)	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	作りは民家を改築しており、お風呂やトイレは普通の家庭と同じようになっている。飾り付けは出来る限り施設感無く、家庭的になる様になっている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	玄関ホールやリビングの空きスペースにソファや椅子を置き、くつろげるようにしている。		
54	(20)	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	タンスや仏壇など、馴染の物や大切な物を持ち込んでもらっている。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	一人ひとりの理解力や身体状況に合わせて表示をしたり、手すりを設けるなどしている。出来るだけご本人の力で出来る様に、その都度検討している。		

## 目標達成計画

作成日:平成29年3月24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時、地域や団体との協力体制ができていない。	避難訓練を行う時、近隣の住民や商店の方々に来てもらう。	運営推進会議で商店の方や近隣住民に参加してもらえるように呼びかけている。	6ヶ月
2	4	運営推進会議で新しいメンバー地域の方々が関わっていない。	運営推進会議に新しいメンバーが参加できるように会議の内容や方法を工夫する。	運営推進会議で行事や訓練を取り入れて会議を行う。	6ヶ月
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。